

議事録

日 時	令和 4 年 10 月 17 日（月） 10：00～11：30	
場 所	河内長野市役所 8 階 802 会議室	
議 題	第 5 回河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	7 名（内 1 名 web にて出席）
	事務局（河内長野市政策企画課、 （株）ユーデーコンサルタンツ他）	11 名
資料等	第 4 回推進委員会議事録 【資料 1】南花台みらいアンケート結果 【資料 2】基本計画案 【資料 3】全体スケジュール、推進委員会スケジュール 【資料 4】配置計画図、断面図 【資料 5】遊具イメージ資料 【資料 6】道路計画図	
議 事	1. 開会 2. 案件 （1）基本計画変更内容説明 ・南花台みらいアンケート結果について説明【資料 1】 重視したい過ごし方や整備方針として、「子どもが遊べること」、「気軽に休憩やピクニックができること」、「人の目が行き届き安心安全であること」に対する回答が多く、公園に整備してほしい物やスペースについては、「遊具」の設置が多く、次いで「暑さや寒さ、雨風などをしのげるスペース」の回答が多くみられた。 また、平成 27 年度に実施した子育て世代の満足度に関するアンケート結果と比較した結果、子どもの遊び場に対する満足度がさらに下がっている結果となり、生活の上で公園施設に対する不満が突出して高く、生活のうえでの公園の重要性が再認識できた。 ・基本計画案について説明【資料 2】 前回の推進委員会での意見および、南花台みらいアンケートの結果を踏まえ、以下の内容を反映した。 ・今回の公園整備区域に整備が必要となる歩道部分を含む計画に変更した。 ・コノミヤとの駐車場設置について連携を図ることにより、計画地内の駐車場台数を必要最小限とし、公園機能を高める計画に修正した。 以下、推進委員会意見を記載 ・スタジアム整備による効果の項目については存在効果、利用効果、波及効果の 3 つに大別し、経済効果やコミュニティの形成は波及効果として整理する。 ・スキーム変更及びスケジュール変更は、より魅力的な施設整備を誘導するうえで推進委員会の意見及び、地域の意見を反映できることから変更は最善策である。 （2）事業スケジュールの変更について ・全体スケジュール、推進委員会スケジュール説明【資料 3】	

- ・本年度実施予定の設計者公募スケジュール、来年度以降の設計期間、建設工事期間を追記。設計施工一括発注方式から、設計施工分離発注方式に変更したことにより、供用開始を令和7年4月から9月に変更する。
- ・住民説明会は、11/20(日)午前と午後の2回、(株)コノミヤの1Fヤードにて実施予定。今まで検討してきたスタジアムの計画案に加え、小中一貫校、URと連携した南花台のブランディングなどこれからのまちづくりについて説明を行い、出席者に対しアンケートで意見を伺う予定。
- ・設計事業者公募（プロポーザル方式）スケジュール案を提示、今後具体的に日程調整を図る。

（３）整備内容修正箇所の説明について

・【資料４】配置計画図、断面図、【資料５】遊具イメージ資料説明

南花台みらいアンケートを踏まえ遊具への期待が大きいことから、Ａゾーンの南西側とＢゾーンの築山にアスレチック遊具を設置する計画としている。

Ｂゾーンは遊具を設置し、且つ夏祭りなどが実施可能な適切な規模の広場（φ50m）も確保できる配置としている。

遊具のイメージは【資料５】のように風景になじむ形状素材をイメージしている。

以下、推進委員会意見を記載

●全体共通

- ・Ｂゾーンに遊具を設置すると、自然と子どもが集まりにぎやかな公園として使われることが想定され、静かに過ごしたい人はＡゾーンを利用するという人の流れが生まれると考えられる。多世代が過ごせるように、ルールをつくり遊び方を制限するより、Ｂゾーンに遊具を置き、Ａゾーンは遊具を置かないとすることで、ＡゾーンとＢゾーンとで自然な住みわけが生まれる公園とするのはどうか。
- ・Ｂゾーンで激しいボールスポーツ的な遊びは想定していない。第10公園を放課後や土日に学校開放とすることで、野球などのボール遊びは引き続きできるよう教育委員会と調整していく予定。今回整備の公園ではゾーンごとに使われ方や、年代が決まってしまう公園ではなく、様々な場所で、できるだけ多世代が憩え、遊べるような場所になればと考えている。
- ・駐車場の図面表現は緑化駐車場の意図が伝わる色彩表現とする。
- ・公園利用できる面積が広くないことから、複合遊具を置くと存在感が出すぎると考えられる。これを考慮して遊具の大きさや配置を検討する必要がある。
- ・Ａゾーンにはスタジアムという構造物が来るため、Ｂゾーンにも複合遊具を置いて、人工的な景観を際立たせるという景観形成も１つあると考えるが、現時点で遊具の規模感や配置を決めるのは難しい、公募時の事業者提案で決めるべきではないか。
- ・遊具のニーズが高いというアンケート結果を受けて単純に遊具を置くのではなく、基本計画としては一歩先に必要となる将来の魅力的な公園の在り方、使われ方も考えていく必要がある。

●A ゾーン

- ・ 1 号線際の緑地はグラウンドゴルフなど多目的に使用ができる広場とし、フェンスを設置するかどうか等、車道、緑地、歩道の利用を想定したうえで設えを検討する。
- ・ 南西面のアスレチック遊具は周辺の戸建住戸に面する場所でもあるため、この場所に遊具が必要か検討する必要がある。
- ・ 北西入りのスロープは敷地の高低差から長くなるため、車いすの方にしか使われないのではと懸念。実際にはスロープに手摺や踊り場があるので、のびやかな斜面にスロープは馴染まないと考えられる。
- ・ 仮に北西入りのスロープを設けるのであれば、つづら折りにせず、階段横の角から滑らかに一本でつなげた方がよい。
- ・ メインスタンドと防球ネットの間のイメージが伝わる資料を作成すること。
- ・ 芝生の圃場地に関しては女子リーグということもあり、補修頻度が低いと判断し、場内には設けない方針とする。

●B ゾーン

- ・ 現在利用されている公園を見ると、大屋根でできた日陰で過ごす等の光景が見られるが、こういった過ごし方の要望はアンケートの結果で顕在化してくるものではないと考える。設計者主導で計画したところ、利用者には好評だったという例であると思うため、アンケート結果を踏まえた上で今後、設計者側からの提案に期待したい。
- ・ 憩う、ゆったりと過ごすという大人のニーズにも応えるために、大屋根を検討する。検討の際は、にぎわい施設や子ども園と関連付ける、またはクラブハウスとの景観形成を考えて A ゾーン B ゾーンに一体性が出るような配置を検討する。
- ・ 人研ぎの滑り台の降りた位置には平場が必要なので、園路から一定の距離を設ける必要がある。

●交通計画・警察協議

南花台 1 号線に以下の整備が可能か警察協議を行う。

- ・ 1 号線に右折レーンを設置する。
- ・ 1 号線北側の交差点は(株)コノミヤからの多くの歩行者が見込まれるため北側交差点をスクランブル交差点にする。
- ・ 1 号線南側の横断歩道の幅を広げる。
- ・ 南花台 1 号線沿いの歩道と AB ゾーンそれぞれのアプローチが自然にできるよう、歩道と公園が一体的に広く整備できるよう検討する。

3. 閉会

以上